

■ 会社の概況

商号 丸善CHIホールディングス株式会社
(Maruzen CHI Holdings Co., Ltd.)
本社 〒162-0846 東京都新宿区市谷左内町31番地2
代表番号 03-6735-0785
※2016年5月1日より上記番号となります
URL <http://www.maruzen-chi.co.jp>
設立 2010(平成22)年2月1日
資本金 30億円
事業内容 書籍及び雑誌等の販売、学術情報その他情報提供サービス業、並びに図書館運営受託業務及び図書館等の教育施設の運営代行、建築工事の設計・監理及び請負業、図書、雑誌の出版業等の事業を営む会社の株式を保有することによる当該会社の事業活動の管理 他

■ グループ会社

- 丸善雄松堂株式会社
〒105-0022 東京都港区海岸1-9-18
- 株式会社図書館流通センター
〒112-8632 東京都文京区大塚3-1-1
- 株式会社丸善ジュンク堂書店
〒160-0008 東京都新宿区三栄町29
- 丸善出版株式会社
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17 神田神保町ビル6階
- 株式会社hontoブックサービス
〒141-8001 東京都品川区西五反田3-5-20 DNP五反田ビル11階

■ 役員

代表取締役社長	中川 清貴	取締役 監査等委員(社外)	栗林 忠道
専務取締役	松尾 英介	取締役 監査等委員	峯村 隆二
取締役	石井 昭	取締役 監査等委員(社外)	茅根 熙和
取締役	工藤 恭孝	取締役 監査等委員(社外)	大胡 誠
取締役	杉本 尚彦		
取締役	橋本 博文		
取締役	五味 英隆		

(当社は2016年4月27日の第6期定時株主総会において、監査等委員会設置会社へ移行いたしました)

2016年 今後のIRカレンダー

6月中旬	● 第7期 第1四半期決算発表
7月31日	● 中間日(株主権利確定日)
9月中旬	● 第7期 第2四半期決算発表
9月下旬~ 10月上旬	● 株主様向け「ビジネスレポート」に 株主優待品 を同封して発送

1単元(100株)以上ご所有の株主様に、全国の丸善・ジュンク堂書店の店舗[®]でご利用いただける商品券をお送りいたします。
※ご利用店舗一覧は当社ホームページにて公開しております。

決算情報や株主優待の詳細は当社ホームページをご覧ください。

<http://www.maruzen-chi.co.jp>



この報告書は、FSC[®] 認証紙と、環境にやさしい植物油インキを使用して印刷しております。



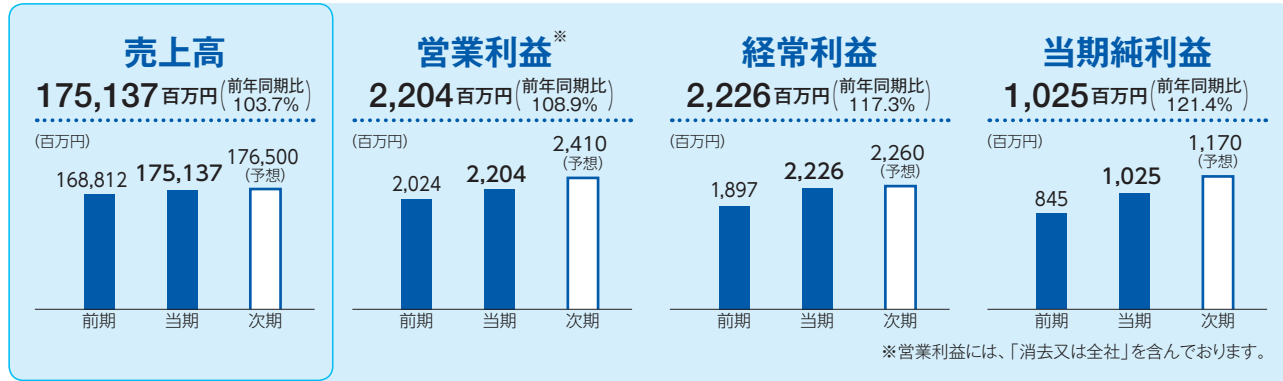
年報

BUSINESS REPORT

株主・投資家の皆さまへ

第6期 2015.2.1 - 2016.1.31

連結業績サマリー



売上高構成比

文教市場販売事業 34.0%

売上高 59,547百万円(前年同期比100.0%)
営業利益 1,808百万円(前年同期比115.8%)

●大学及び研究機関向け書籍販売において、古書等が減収となりましたが、一方で洋書・外国雑誌が増収となった結果、売上高は595億47百万円(前年同期比0.03%増)とほぼ前年並みとなりました。利益面では外国雑誌の収益増加により、営業利益は18億8百万円(前年同期比15.8%増)と増益となりました。

その他事業 8.6%

売上高 15,125百万円(前年同期比133.8%)
営業利益 755百万円(前年同期比199.8%)

●店舗内装業及びApple製品・パソコンの修理サービス等の事業において売上高が伸長し、また総合保育サービスの株式会社明日香を前年第3四半期より連結対象に加えたこともあり、売上高は151億25百万円(前年同期比33.8%増)と増収となり、営業利益は7億55百万円(前年同期比99.8%増)と増益となりました。

出版事業 2.6%

売上高 4,571百万円(前年同期比97.0%)
営業利益 325百万円(前年同期比89.7%)

●専門分野として「科学の健全な発展のために～誠実な科学者の心得」『サイエンス・パレット リスク～不確実性の中での意思決定』など、合計新刊300点(前年311点)を刊行いたしました。新刊刊行数の減少及び映像メディア商品の減収等の影響で当事業の売上高は45億71百万円(前年同期比3.0%減)、営業利益は3億25百万円(前年同期比10.3%減)と減益となりました。

店舗・ネット販売事業 43.0%

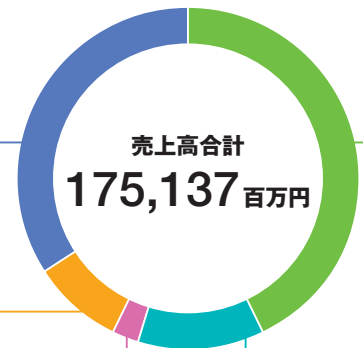
売上高 75,223百万円(前年同期比101.7%)
営業利益 △335百万円(前年同期比 →)

●売上高は752億23百万円(前年同期比1.7%増)と増収となりましたが、新規開店に伴う初期費用及び店舗改装費用の計上等もあったことから3億35百万円(前年同期は64百万円の営業損失)の営業損失となりました。

図書館サポート事業 11.8%

売上高 20,669百万円(前年同期比107.3%)
営業利益 2,124百万円(前年同期比106.2%)

●図書館受託館数は期初878館から213館増加し、平成28年1月末時点では1,091館となり順調に推移しております。その結果、売上高は206億69百万円(前年同期比7.3%増)と増収となりましたが、新規受託館の準備費用及び人件費の上昇等によりコストが増加したため、営業利益は21億24百万円で前年同期比6.2%の増益に留まりました。



ご挨拶



丸善CHIホールディングス株式会社
代表取締役社長

中川 清貴

平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

弊社グループの平成28年1月期業績は、出版物の年間販売額が引き続き前年を下回るなど、厳しい市場環境の中、売上高1,751億37百万円(前年同期比3.7%増)、営業利益22億4百万円(同8.9%増)、経常利益22億26百万円(同17.3%増)、当期純利益10億25百万円(同21.4%増)の増収増益の業績で終わることができました。これも皆さま方のご支援の賜物と、厚く御礼申し上げます。

弊社グループでは、厳しい市場環境の中で持続的な成長を遂げるために、「書店の新しい収益モデルの確立」「大学向け事業の構造改革」「図書館を核にした地域活性化事業」を戦略の柱とし事業を推進しております。

平成28年1月期の事業別業績については、店舗・ネット販売事業では、既存店舗は比較的堅調に推移したものの、名古屋、京都などの大型出店にかかわる一時的費用の増加が発生いたしました。来期は、これら新規店舗の収益貢献や書籍流通センターの一層の活用による品揃え・サービスの充実を図ってまいります。

文教市場販売事業は、売上高は微増にとどまったものの、外国雑誌の利益率や大学向け事業のコスト改善が進んだことから増収となりました。引き続き収益性の向上と、より付加価値の高いサービスの開発に努めてまいります。

図書館サポート事業は、業務受託館数が初めて1,000館を超え、引き続き増収増益となりました。また、平成27年10月に埼玉県桶川市に、書店、図書館、イベントスペースを弊社グループで運営する「OKEGAWA honプラス+」を桶川市の文化交流拠点としてオープンいたしました。今後もグループの総合力を発揮することで、地域社会や大学から期待される新たな役割を果たしてまいります。

出版事業は、児童書分野は順調に推移したものの、専門書販売において既刊書および大型商品の売上が前年を下回ったことから厳しい結果となりました。今後は少数出版やオンデマンド出版を活用し、安定的に利益確保する体制作りを行います。

弊社グループでは、今後も前述の3つの成長戦略の柱を中心に、知の生成と流通の発展に一層貢献できる商品・サービスをご提供することで、収益性の向上に努めてまいります。

株主の皆さまには、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

T.O.P.I.C.S トピックス

世代を超えて夢を育む「手塚治虫書店」



手塚治虫に関するあらゆる書籍を揃えた専門書店を丸善丸の内本店に続き、ジュンク堂書店名古屋栄店、MARUZEN&ジュンク堂書店梅田店の中にオープンしました。

店内ではタブレット端末等で手塚作品を無料で閲覧できる電子図書館サービス「TEZUKA-SPOT」や、ここでしか手に入らないオンデマンド書籍や限定グッズも取り揃えています。また丸善丸の内本店では手塚作品の複製原画の展示や、手塚治虫とキャラクターが集合した壁画の前では記念撮影もお楽しみいただけます。

生命、歴史、宇宙、環境…今に通じるテーマとともに子どもたちの夢を育んだ手塚治虫の世界を、より多くの世代にお伝えできればと思っております。ぜひお立ち寄りください。

読者と書店員の想いが名著を復刊

品切れとなった書籍の中には「できればずっと棚に置いてお客様に届けたい」と書店員が願っているものや、読者も入手できないことを残念に思っているタイトルが少なくありません。今回筑摩書房様との協力で、ちくま文庫・ちくま学芸文庫から5冊を復刊いたしました。寺山修二、種村季弘、松山巖など個性派ぞろいのラインナップは、読者のリクエストと書店員の想いを重ね合わせて選ばれた、長く入手困難であった名著ですので、ぜひこの機会にお求めください。丸善ジュンク堂書店は、これからも知と文化の資産を未来へつなぐ書店として、読者の皆さまと歩んでまいります。



地域の文化・交流拠点 OKEGAWA hon プラス+ オープン

丸善雄松堂、図書館流通センター (TRC)、丸善ジュンク堂書店がそれぞれの事業の強みを活かし、桶川市が描く将来像「みんなで つくり 育む 活気あふれる交流拠点都市おけがわ」を実現すべく、桶川駅西口に新しい文化・交流施設「OKEGAWA hon プラス+」をオープンしました。

TRCが運営受託する桶川市の駅西口図書館と地域最大規模の書店・丸善桶川店を同フロアに展開し、ふたつをつなぐ共有スペースでは、文化・交流活動拠点として、本に関する楽しいイベントや、地元埼玉県の大学と連携したワークショップなどのイベントを企画・開催しています。桶川市民の皆さまにとって次世代の知の広場となるよう、新たな出会い・気づき・コミュニティづくりに当社グループの総合力で貢献してまいります。



MARUZEN-YUSHODO

文教市場のグループ2社が経営統合 丸善雄松堂株式会社として新たなスタート

本年2月1日より丸善株式会社と株式会社雄松堂書店が経営統合し、「丸善雄松堂株式会社」として歩みはじめました。

1869年の創業以来、学術情報・知的空間の創造といった「知」の提供に努めてきた丸善、1932年から「洋古書の雄松堂」として国内外にその存在感を示してきた雄松堂書店。高いブランド力を有する両社の経営統合により、丸善の営業ネットワークと雄松堂書店の専門性を強みに、お客様に一層価値あるコンテンツやサービスを提供してまいります。統合記念企画として、学術研究者向けプラットフォームのJ-DACにて「オンライン版 三田文学」をリリースしました。丸善とも深い縁を持つ著名な文芸雑誌「三田文学」をデジタルデータベース化し、作品・記事だけでなく掲載広告も検索できる画期的な機能を備えています。

■新コーポレートサイト <http://yushodo.maruzen.co.jp/>

図書館から子育て支援 ～ TRCの新たな挑戦

密室育児や子どもへの虐待…昨今の悲しいニュースの背景には、核家族化や地域での人間関係の希薄化など、育児を取り巻く環境の厳しさも要因として上げられています。TRCは「図書館から子育てを応援したい」との思いで、保育サービスの(株)明日香とともに八千代市立中央図書館にて図書館利用者向け無料託児サービスを開始しました。図書館で未就学児を1時間お預かりする試みは「当日気軽に1時間というのが息抜きになる」「保育士さんと話せて気持ち楽になった」「子どもが喜んで図書館に出かける」など、利用者から喜びの声が多く、各種メディアでも紹介されています。図書館を子育て支援の拠点へ。TRCグループの挑戦です。



第20回をむかえる「図書館を使った調べる学習コンクール®」

若手県の紫波町立彦部小学校5年生の森田 開君は、見つけた大きな羽根がトビのものであると知り、トビの生態に興味を持ちました。森田君が図書館の図鑑や観察で調べてまとめた作品は、テーマに迫る着眼点や調べる手段の多様性が高く評価され、第19回「図書館を使った調べる学習コンクール®」で文部科学大臣賞を受賞しました。

TRCが後援するこのコンクール、前回は過去最多の7万点を超える応募数となり、今回はよいよ第20回。2016年9月より募集が始まります。TRCでは指定管理者として運営する図書館を中心に、より多くの方に図書館を活用した調べる楽しさを、子どもたちには自ら学ぶ力を育んでいただけるよう、一層努力してまいります。



連結財務データ

財政状態 (単位:百万円)

	当期末 (2016年1月31日現在)	前期末 (2015年1月31日現在)
総資産	134,651	130,612
●流動資産	99,170	95,179
●固定資産	35,399	35,403
(有形固定資産)	21,075	20,429
(無形固定資産)	1,505	2,565
(投資その他の資産)	12,817	12,409
●繰延資産	81	29
負債	99,502	96,912
●流動負債	77,101	74,121
●固定負債	22,401	22,790
純資産	35,148	33,700
●株主資本	34,324	33,318
●その他の包括利益累計額	△336	△708
●少数株主持分	1,160	1,091

損益の状況 (単位:百万円)

	当期 (2015年2月1日から 2016年1月31日まで)	前期 (2014年2月1日から 2015年1月31日まで)
●売上高	175,137	168,812
●営業利益	2,204	2,024
●経常利益	2,226	1,897
●当期純利益	1,025	845

キャッシュ・フローの状況 (単位:百万円)

	当期 (2015年2月1日から 2016年1月31日まで)	前期 (2014年2月1日から 2015年1月31日まで)
●営業活動によるキャッシュ・フロー	865	2,135
●投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,635	△1,785
●財務活動によるキャッシュ・フロー	3,549	5,750
●現金及び現金同等物の増減額	1,779	6,099
●現金及び現金同等物の期首残高	18,421	12,257
●新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	0	64
●現金及び現金同等物の期末残高	20,201	18,421

グループ一覧

当社グループは、日本の知の発展のために、紙や電子の垣根を越えて、あらゆる利用者が「必要なときに、必要な形態で」知を得ることのできる快適なプラットフォームを提供してまいります。



株式情報 (2016年1月31日現在)

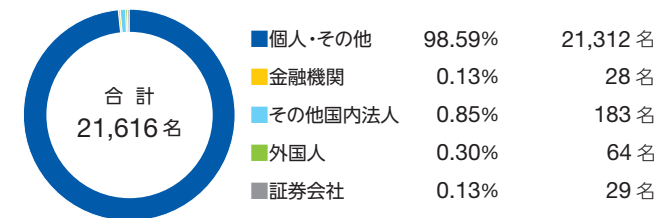
株式の状況

発行可能株式総数	240,000,000 株
発行済株式の総数	92,554,085 株
株主数	21,616 名

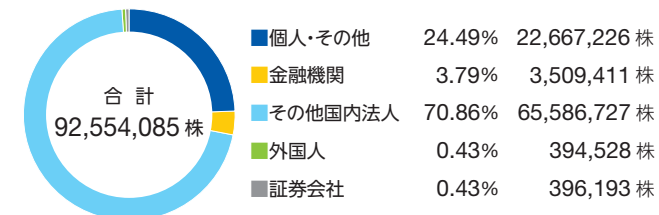
大株主一覧

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
大日本印刷株式会社	49,028,336	52.97
工藤 恭孝	7,107,410	7.67
株式会社講談社	4,028,000	4.35
株式会社トーハン	3,694,406	3.99
有限会社宝生堂	3,268,880	3.53
株式会社小学館	2,203,500	2.38
丸善CHIホールディングス従業員持株会	2,177,285	2.35
石井 昭	2,020,426	2.18
新田 満夫	1,950,900	2.10
川村 裕二	928,900	1.00

所有者別株主分布状況



所有者別株式分布状況



※個人・その他には自己名義株式3,731株を含んでおります。

株主メモ

事業年度	毎年2月1日から翌年1月31日まで
基準日	毎年1月31日
株主総会	毎年4月
1単元の株式数	100株
公告の方法	電子公告による公告 但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
<公告掲載URL>	http://www.maruzen-chi.co.jp/ir/notification/index.html
上場	東京証券取引所市場第一部
証券コード	3159

株式事務の取扱場所

株主名簿管理人及び特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内1-4-1 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人	〒168-0063
同事務取扱場所	東京都杉並区和泉2-8-4
[郵便物送付先]	三井住友信託銀行株式会社証券代行部
[電話照会先]	電話フリーダイヤル0120-782-031
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社全国各支店

住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

単元未満株式の買取制度とは?

市場で売買できない100株未満の株式を、当社に対して市場価格で売却することができる制度です。

